

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	放課後子ども教室事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	05家庭教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020放課後子ども教室事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	初年度は実施日当日に子どもたちが教室を自由に参加できるフリースペース形式でスタートしたが、不安定な教室運営であったため、20年度からはあらかじめ子ども、ボランティアを確定して運営するクラブ活動形式とした。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)					
市内小学校の児童	小学校の余裕教室等を活用して、地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援。	子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を促す。					
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市立小学校児童数		人		15,629	15,302		
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業実施回数		回		220	231		
ボランティア数		人		198	181		
活動指標分析結果	実施回数により活動の機会を図ることができ、指標は妥当であると思われる。クラブ数も増え、参加者数もそれに伴い増加することが予想される。						
事業費		千円		1,254	1,340		
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
参加者数		人		347	433	350	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値							
上段:計画値/下段:実績値							
上段:計画値/下段:実績値							
成果指標分析結果	クラブ数も増え、参加者数もそれに伴い増加することが予想される。						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
子どもたちの活動拠点を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動が積極的に行われているが、小学校単位での運営には限界があり、実施している地区が限定されている。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,340	内訳	国費	県費	602	市債	他	228	一般	510
-----	-------	----	----	----	-----	----	---	-----	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	家庭教育支援啓発事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	05家庭教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010家庭教育支援啓発事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	青少年の生活習慣の乱れなど家庭の教育機能の低下が指摘されており、家庭の教育力、地域の教育力の向上が求められている。
-------	-----------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
子どもの保護者	家庭教育セミナーを開催し、家庭教育に関する講演を聴くことにより、家庭づくり・健全な子育てを進める・加古川市からPTA連合会へ家庭教育大学事業を委託し、育児中の保護者が家庭教育について学習する機会を計画・実施する。	青少年の健全な育成のため、家庭教育力の向上を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
小学校世帯数	世帯数		11,615	11,612		
中学校世帯数	世帯数		7,425	7,428		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
家庭教育セミナー実施回数	回数		3	4	4	
家庭教育セミナー参加者数	人		1,388	970	1,500	
家庭教育大学を実施する単位PTA数	数		60	60	60	
活動指標分析結果	家庭教育大学の一環に家庭教育セミナーを組み入れる等、両事業の連携が図られている。					
事業費	千円	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
			3,609	3,545		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
家庭教育セミナー参加者の満足度	%		95.2	86.2	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
家庭教育大学を実施した単位PTA数	数		60	60	60	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	家庭教育セミナーで行ったアンケート調査の結果、参加者の満足度は高い。アンケートは次年度へのフィードバックに活かしている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
家庭教育大学は、ユニットの活用や家庭教育セミナーに参加するなどスケールメリットを活かした展開が進められている。校種間の連携の中で、幼稚園児から中学生までの保護者が共に家庭教育を学ぶ体制が形成されつつある。

※事業費と財源内訳

決算額	3,545	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,545
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	障がい児（者）家庭教育学級事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	01社会教育総務費
事業区分	⑤市施策事業（経常）	細目	010生涯学習推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	ノーマライゼーションの理念が浸透する中、障がい児（者）をもつ親の家庭教育に対する課題を解決するとともに、障がい者問題に対する理解を広めることが求められている。
-------	---------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）				意図（どのような状態にする）	
障がい児（者）をもつ親、または障がい児（者）教育に関心を持つもの	障がい児（者）家庭教育学級事業を委託し、家庭教育についての学習、交流啓発の実践を行う。				障がい児（者）をもつ親が当面している家庭教育の課題を、相互学習や情報交換により解決を図る。また、交流学習や市民との交歓活動をとおして障がい者問題に対する正しい理解の啓発を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
障がい児（者）家庭教育学級生数	人		430	413		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
家庭教育事業平均学習時間	時間		24	25		
交流啓発事業平均学習時間	時間		11	11		
活動指標分析結果	ほとんどの学級の学習時間は家庭教育事業15時間、交流啓発事業5時間の委託時間を大きく超えており、各家庭教育学級は活発に活動している。					
事業費	千円		1,624	1,624		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
障がい児（者）家庭教育学級満足度	%			95	95	平成27年度
			94	94		
成果指標分析結果	事業に対する満足度は非常に高い。					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
障がい児（者）を持つ親が共に学び、問題を共有する場として、有効である。

※事業費と財源内訳

決算額	1,624	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,624
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	留守家庭児童対策事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	0 2心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	0 1一般会計
政策	0 2地域における教育・学習環境を整備する	款	1 0教育費
施策	0 2地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	0 7社会教育費
期間	昭和60年度～永年	目	0 5家庭教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 1 5留守家庭児童対策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	児童福祉法、加古川市児童クラブの設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	児童数は減少傾向にあるなか、核家族化、共働きの家庭が増加しており、児童クラブに対するニーズは高まっている。入所希望児童数は、加古川バイパス以南の人口が多い小学校に多く、市北部では比較的少ない二極化の傾向にある。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
保護者が労働等により昼間家庭において適正に保護育成することができない、市内の小学1年生から3年生までの児童	市内小学校敷地内等に児童クラブ室を設置し、放課後等の時間帯に入所児童に対して家庭に代わる生活の場を確保し、児童クラブ職員(指導員及び補助員)の指導により、生活の場、また遊びを通した健全育成の場として、保護育成とともに指導を行う。	放課後の保護に欠ける児童の安全を確保し、健全育成を図るとともに、女性(母親)の社会参加、勤労の機会創出を促進する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
児童クラブ潜在需要人数	人		2,371	2,327		
市内小学1年生から3年生までの児童数	人		7,408	7,273		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
児童クラブ数	箇所		32	32		
児童クラブ入所者数	人		1,576	1,628		
児童クラブ開所日数	日		290	293		
活動指標分析結果	市内28小学校すべてに児童クラブを設置し、市内に空白地域はない。また、入所希望児童数が多い小学校には複数の児童クラブを設置し、なるべく待機児童を発生させないようにしている。日曜日、年末年始を除いて開所しており、働く親へも支援を果たしている。					
事業費	千円	145,890	149,912	152,553		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
児童クラブ入所率	%		21.3	22.8	23	平成27年度
			21.3	22.4		
成果指標分析結果	小学1～3年生の児童数は減少傾向であるが、入所児童数は増加している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
法改正により、児童クラブ入所の対象学年が拡大され、また、設備、運営の基準を国が示している。ニーズの増加、国の基準を鑑みると事業の拡大は必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	152,553	内訳	国費	県費	21,805	市債	他	118,727	一般	12,021
-----	---------	----	----	----	--------	----	---	---------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	地域子育て創生事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	06公民館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	055地域コミュニティ事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	核家族化が進み子育てに悩む親が増加している。
-------	------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
子どもや子育て中の市民	地域で子育てを支援することを目的に、ボランティアなどの協力のもと、公民館に幼児等の子育て世代の親子が集い、様々な体験学習の場を提供している。				子育てについての悩みや、子育てについて学ぶことにより、安心して子育てができるよう地域で応援していく。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(4/1付推計人口)	人		268,038	268,001		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座開催回数	回		385	498		
活動指標分析結果	子どもや親子を対象に、高齢者大学生や地域住民の協力を得て、さまざまな体験学習の機会を提供していく。					
事業費	千円		474	492		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座参加者数	人			1,150	1,170	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1,143	2,038		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	子育てに関するニーズは高く、今後も増えていくことが予想される。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
地域における子育て支援体制の強化・地域教育力の向上を図るために有効な事業であるが、今後さらに事業規模の拡大を図ることが有効であると思われる。

※事業費と財源内訳

決算額	492	内訳	国費	県費	市債	他	一般	492
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	世代間交流学習会事業補助金交付事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	01社会教育総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010生涯学習推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	補助金に変更したことで、手続きが煩雑となったため、補助金申請しない町内会もある。
-------	------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内の町内会及び自治会、小学校区を代表する町内会	地域で行われる世代間交流学習会事業に対して、補助金を交付する。	地域の教育力と絆を高め、ともに支えあう地域社会をつくる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
町内会数	件		321	321		
小学校区数	区		28	28		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
補助金交付件数(町内会)	件		218	221		
補助金交付件数(小学校区)	件		26	26		
活動指標分析結果	事業実施より3年が経過し、申請手続に対する問い合わせは減少したが、申請件数は、ほぼ横ばいである。					
事業費	千円		4,210	4,251		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
町内会世代間交流学習会事業実施率	%		76.6	86.6	85	平成27年度
小学校区世代間交流学習会事業実施率	%		92.9	92.9	90	平成27年度
成果指標分析結果	事業実施した町内会は278件に上るが、補助金申請は221件と昨年度と変わらない。事業実施率は上昇しているので、補助金制度について周知する必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 世代間交流学習会事業は、地域コミュニティの活性化には有効な事業である。しかし、交付件数は低くなっている。

※事業費と財源内訳

決算額	4,251	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,251
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	少年自然の家管理運営事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	07少年自然の家管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	015管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、加古川市立少年自然の家の設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成8年に天体観察のために大型望遠鏡を4台設置した。
-------	----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
青少年活動に取り組む人、市内の小学校及び5年生児童	野外活動及び自然学校の活動の場の提供	活動が円滑に実施できる状態にする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		4,872	5,031		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
子どもの自然体験や野外活動の必要性が叫ばれている今日、老朽化はしているものの現状を維持しながら存続させていく。

※事業費と財源内訳

決算額	5,031	内訳	国費	県費	市債	他	一般	5,031
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	少年自然の家維持補修事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	07少年自然の家管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020少年自然の家維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、加古川市立少年自然の家の設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成8年に施設の改修と大型天体望遠鏡を4台設置した。
-------	----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
少年自然の家宿泊棟、管理棟及び天体観測室	宿泊棟、管理棟及び天体観測室の維持補修を行う。	宿泊棟、管理棟及び天体観測室を不具合なく管理することで、それぞれの利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	14,260	14,936	16,655		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
自然学校をはじめ各種青少年団体の野外活動体験実施施設として、今後も開所が必要である。そのため、適正な維持補修を行っていく。

※事業費と財源内訳

決算額	16,655	内訳	国費	県費	市債	他	4,467	一般	12,188
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	自然体験活動指導事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	昭和48年度～永年	目	07少年自然の家管理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010指導事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川市立少年自然の家の設置及び管理に関する条例、加古川市立少年自然の家野外教育指導員設置規則		

【現状と課題】

現状と課題	平成8年に天体観察のための大型望遠鏡を4台設置し、主催事業や受入れ指導事業において活用されている。また、インターネットの普及によりホームページによる遠方からの利用が増加している。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
少年自然の家入所利用者及び自主事業の参加者	主催事業の開催及び野外活動団体の受入	少年が自然の中での集団宿泊生活を通じて、情操や社会性を豊かにし、また心身を鍛錬し、もって健全な少年が育成できる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
入所利用者数	人	9,924	9,990	12,000		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業実施回数	回		57	67		
施設開館日	日		303	308	345	
活動指標分析結果	主催事業は、土、日曜日に開催することが中心であることから、実施回数は横ばいである。施設開館日は月曜、祝日であるが、利用者の利便性を考慮し可能な限り開館していけば利用者も増加が見込める。					
事業費	千円	3,709	3,686	4,046		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
主催事業参加者数	人		2,000	2,500	2,500	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		1,924	2,311	3,444		
施設の利用件数(延べ件数)	件			90	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			88	95		
成果指標分析結果	主催事業は、募集人員の定員割れ、雨プロ対策など中止要因や代替策を検討する必要がある。施設の利用件数は、夏休み期間を無休にするなど利用者の利便性を図り、増加をめざす。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	意図を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
自然とのふれあいや、野外活動体験は子供の発育に不可欠であり、その意味において当事業は重要である。

※事業費と財源内訳

決算額	4,046	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,046
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年問題協議会運営事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	昭和56年度～永年	目	05家庭教育費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	035青少年問題協議会運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	地方青少年問題協議会法、青少年問題協議会条例、青少年問題協議会条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	開始時に比べ、社会情勢や青少年の意識変化、青少年をとりまく環境も大きく変化してきている中、時代に即した総合的施策の樹立が求められている。
-------	----------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
青少年(園児・児童・生徒)	青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要なことを審議し協議する。	青少年の健全育成を図るとともに、これを阻害する恐れのある環境や行為から青少年を保護する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		144	196		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
青少年を取り巻く環境の変化は大きく、時代に即した総合的施策の樹立に必要なことを審議し協議する当協議会は必要なものとし、大いに評価できる。

※事業費と財源内訳

決算額	196	内訳	国費	県費	市債	他	一般	196
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	少年愛護センター維持補修事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	0 2心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	0 1一般会計
政策	0 2地域における教育・学習環境を整備する	款	1 0教育費
施策	0 2地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	0 7社会教育費
期間	～ 永年	目	0 9少年補導所費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 5少年愛護センター維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市少年愛護センター設置条例		

【現状と課題】

現状と課題	建築後数十年経過し、外壁が劣化しており、東面はクラックが何本もあり、建物の老朽化が目立つ。また、建物内の冷暖房機も老朽化し、温度調整ができない。
-------	--------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
少年愛護センターは、加古川市少年補導委員会(市内31地区170名)の事務局と市内12中学校・28小学校・1養護学校の生徒指導業務等を受け入れている。そのため市内の青少年の非行防止・健全育成に係る事業を展開し、市内の青少年及び少年補導委員の全てが対象となる。	清掃委託、警備保障委託、冷暖房・上下水道の維持管理、施設の修繕を行う。	少年愛護センターの業務を円滑に運営し、施設の維持管理をする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,121	1,163		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市内全域の青少年の非行防止・健全育成の拠点となっている当センターは、今後も市民のニーズが高いと考えられるため、館を維持していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,163	内訳	国費	県費	市債	他	29一般	1,134
-----	-------	----	----	----	----	---	------	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	家庭教育支援相談事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	平成14年度～永年	目	05家庭教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025いのちと心サポート事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法、学校教育法、かがわ教育ビジョン、教育アクションプラン		

【現状と課題】

現状と課題	高い専門性をもつ臨床心理士や社会福祉士の有資格者を採用するなど、人的配置の充実を進めてきた。平成19年度からは学校への苦情・要望の窓口になったこともあり、年々相談内容が多様化しており、指導・介入を求めるケースが増加している。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
幼稚園年長児から中学生までの子ども、その保護者、学校関係者	電話・来所・訪問等により不登校、いじめ、学習、進路、しつけ、発達、苦情・要望等教育に関する相談を受け、適切な指導助言を行うとともに問題解消及び軽減が図られるように支援を行う。また、関係機関との連携を図る。	対象者の生活意欲の向上、問題の解消及び軽減を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
就学前児童数	人	2,396	2,438	2,425		
市内の小・中学校に通学する児童・生徒数	人	24,319	23,850	23,521		
教諭数	人			1,355		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
電話相談件数	件	1,108	1,490	1,484	1,400	平成27年度
面接相談件数	件	1,800	1,869	1,941	2,000	平成27年度
活動指標分析結果	教育相談状況については、電話相談件数と面接相談件数の総和で示されるため、妥当な指標であるとする。					
事業費	千円	7,284	6,737	9,562		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
新規相談件数	件数		500	500	600	平成27年度
	上段:計画値/下段:実績値	488	463	574		
終了相談件数	件数		350	380	400	平成27年度
	上段:計画値/下段:実績値	326	358	365		
成果指標分析結果	相談件数は年々増加しているが、教育相談員や心理相談員の適切な相談の実施により終了ケースが増加していくと予想されるため、妥当な指標であるとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 相談件数の増加から、市民のニーズが高いことは明らかであり、社会情勢からも多種多様化する教育問題への相談対応は、青少年の健全な育成を図るために充実が求められる事業である。

※事業費と財源内訳

決算額	9,562	内訳	国費	県費	市債	他	一般	9,562
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年活動支援事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	昭和62年度～永年	目	03青少年教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010青少年活動支援事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	地域の人間関係の希薄化から、近年、未加入者が増えた。そのため、平成24年度から全市事業としてオセロ大会を開催して、団活動の活性化を図っている。
-------	-------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
●青少年(園児・児童・生徒) ●ジュニアリーダー ●子どもの指導者	●少年団普及活動→青少年の交流やふれあい事業の実施 ●団(小学校区単位)活動助成→指導者研修を実施し団活動に反映させる				●少年団普及活動→心身ともに健やかな子どもの育成を図る ●団(小学校区単位)活動助成→指導者の資質を向上させ、地域活動の活性化を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市立小学校児童数	人		15,629	15,326		
市立中学校生徒数	人		8,206	8,195		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
ふれあい事業の参加人数	人		258	322	483	平成27年度
少年団指導者研修会の参加人数	人		427	317	300	平成27年度
活動指標分析結果	ふれあい事業(オセロゲーム大会)については、平成24年度から開催しているが、市内全域からの参加があり、妥当であるとする。また、指導者研修会については、参加者の増減があるものの、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					
事業費	千円		1,717	1,670		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
少年団員数	人			11,000	10,000	平成27年度
			9,614	9,373		
成果指標分析結果	近年、減少傾向にあるが、この状況に歯止めをかける意味から必要なものとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成24年度より全市でのオセロゲーム大会を開催するなど、魅力ある少年団活動を推進していくための事業を行っている。それらの事業への参加者も増加していることから、少年団(=子ども会)活動の必要性・重要性をアピールするために必要な事業と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	1,670	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,670
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年対策事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	09少年補導所費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020青少年対策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市教育委員会非行防止対策本部設置要綱		

【現状と課題】

現状と課題	地域総がかりの教育として学校園・家庭・地域及び関係機関の連携した青少年の非行防止・健全育成が重要である。今や学校内の教育だけでなく、家庭の協体制や地域の支えが必要となっている。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内の小中学校及び特別支援学校に在籍する児童・生徒	市内の小中学校に勤務する教職員に対して、生徒指導上の問題行動が発生し、補導活動・家庭訪問活動・保護捜索活動に従事した場合に報償金を支給する。また非行防止対策として防犯広報立看板や啓発リーフレット等を作成し啓発する。	市内小中学校の児童生徒の非行の未然防止及び児童生徒の問題行動等が発生したときに適切な指導及び支援を行うことにより健全育成を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市立小学校児童数	人		15,629	15,578		
市立中学校生徒数	人		8,206	8,288		
市内特別支援学校児童・生徒数	人		45	43		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
補導活動回数	回		5,757	5,771	5,700	
家庭訪問活動回数	回		2,197	2,317	2,300	
保護捜索活動回数	回		219	221	200	

活動指標分析結果	市内の小中学校に在籍する児童生徒の非行の未然防止及び健全育成を図るとともに、生徒指導上の問題行動が発生したときに適切な指導及び支援を行うことを目的とした取組みとして、補導・家庭訪問・保護捜索活動の実施回数を指標とすることは妥当な指標であると考えます。				
事業費	千円		3,264	3,269	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
小学校児童1000人あたりの暴力行為発生件数 上段:計画値/下段:実績値	件		0	0.1	0	平成27年度
中学校生徒1000人あたりの暴力行為発生件数 上段:計画値/下段:実績値	件		2.8	2.1	0	平成27年度

成果指標分析結果	小中学校における児童・生徒1000人あたりの暴力件数を減少させるということは、青少年の非行防止及び健全育成を推進するという観点から妥当な指標であると考えます。
----------	---------------------------------------------------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市内の小中学校に在籍する児童生徒の非行の未然防止及び健全育成を図るため、生徒指導上の問題行動が発生したときに適切な指導及び支援を行うことを目的とした取組みとしての補導・家庭訪問・保護捜索活動は青少年対策事業として大いに評価できる。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,269	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,269
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	有害環境浄化及び健全育成事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	09少年補導所費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010有害環境浄化及び健全育成事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法、学校教育法、少年愛護センター設置条例、少年補導委員に関する規則、青少年愛護条例		

【現状と課題】

現状と課題	社会の変化に伴い、青少年の意識が急激に変化し、非行の低年齢化・粗暴化が大きな問題になっている。コンビニ・大型量販店等の増加に伴い、深夜徘徊・喫煙・窃盗等の様々な問題行動が発生している。そのため、有害環境調査や危険箇所点検は効果がある。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
青少年に対して、地域・家庭・業者・行政が一体となり、少年を取り巻く有害環境や危険箇所を調査・把握し、排除・改善のための浄化活動の推進を図る。	危険箇所調査・有害環境調査での有害環境等の排除・改善依頼、「少年をまもる店」協力店加入運動の推進、有害図書追放運動の推進、善行少年の表彰等を行う。	青少年の健全育成のため、青少年を取り巻く危険箇所及び有害環境の排除・改善を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
少年補導委員数	人		167	168

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
危険箇所点検調査	箇所		230	257	210	平成27年度
有害環境調査	箇所		182	185	170	平成27年度

活動指標分析結果	青少年の健全育成を支援していくためには、青少年を取り巻く有害環境の調査を実施し、危険箇所及び有害環境を排除・改善のための指標は、妥当と考えられる。
----------	---------------------------------------------------------------------------

事業費	千円		687	616
-----	----	--	-----	-----

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
少年善行賞被表彰者数	人			42	50	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			45	45		
「少年をまもる店」協力店舗数	店舗			480	500	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			491	493		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	少年善行賞の推薦団体から推薦され審査委員会で承認される被表彰者数は、青少年の健全育成に資する善行を行った児童生徒に授与されるため妥当と考える。また、市内全域の商店に対して非行防止・健全育成の観点から、「少年をまもる店」協力店舗数も妥当と考えられる。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 有害環境浄化については、市内31地区の少年補導委員168名により5月に危険箇所点検調査、11月に有害環境調査を全市的に実施した。青少年を取り巻く環境浄化活動として、危険箇所257箇所、有害環境185箇所の報告実績がある。また、他の範となる児童生徒に資する少年善行賞についても、推薦団体及び審査委員会により市内児童生徒45名を表彰した。共に、大いに評価できる。

※事業費と財源内訳

決算額	616	内訳	国費	県費	市債	他	一般	616
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	少年補導・相談事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	0 2心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	0 1一般会計
政策	0 2地域における教育・学習環境を整備する	款	1 0教育費
施策	0 2地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	0 7社会教育費
期間	～ 永年	目	0 9少年補導所費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 0 5少年補導・相談事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法、学校教育法、青少年愛護条例、少年愛護センター設置条例、少年補導委員に関する規則		

【現状と課題】

現状と課題	社会情勢の変化に伴い、青少年の意識が変化し、非行の低年齢化・暴力化が問題になっている。コンビニ・ゲームセンター・大型量販店の増加に伴い、青少年の深夜徘徊・喫煙・飲酒・窃盗等の問題が多発している。また、携帯電話の普及による非行の広域化・集団化も問題になっている。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
青少年(園児・児童・生徒)	少年補導委員については、31地区170名を委嘱し、青少年の健全育成・非行防止のため、街頭補導活動にあたっている。少年補導委員の資質向上に向けて、全市大会(研修会)の開催や東播磨地区・県の研修会への参加及び新任少年補導委員の1日研修を実施する。また、加古川まつり等では全市的・広域的な街頭補導活動を展開する。相談事業では、2名の少年相談員が、日常の電話・来所相談だけでなく、要請に応じて訪問相談・指導等を実施する。				少年の実態把握及び非行の早期発見・指導を図るため、関係機関と連携を密にし、街頭補導・非行防止啓発活動を行い、地域と行政が一体となった善導に努める。また、来所・電話・訪問による相談を行い、個別指導・環境調整及び再発防止を図る。少年補導委員については、その資質向上を図るため、研修会を開催する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市立幼稚園園児数	人		820	861		
市立小学校児童数	人		15,629	15,578		
市立中学校生徒数	人		8,206	8,288		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
街頭補導回数	回		3,250	3,248	3,000	平成27年度
街頭補導活動委員延人数	人		9,150	8,992	9,000	平成27年度
活動指標分析結果	青少年の非行防止・健全育成を目的とした少年補導委員による街頭補導活動、また、少年相談員による相談等、積極的に取り組んでいる。					
事業費	千円		11,105	11,190		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
少年相談員による少年非行相談件数	件			1,000	1,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1,112	1,150		
補導(注意・声かけ)人数	人			4,000	4,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			4,114	5,777		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	170名の少年補導委員による街頭補導時の青少年への注意・声かけ人数及び2名の少年相談員による相談件数は、近年安定した数を維持している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
青少年の生活実態の把握と非行や問題行動の早期発見、早期対応を図る少年補導活動と効果的な相談活動を行うことによって、矯正指導・環境調整及び再非行の防止に努める本事業は、市内31地区170名の少年補導委員と2名の少年相談員に依るところが大きいいため、大いに評価できる。

※事業費と財源内訳

決算額	11,190	内訳	国費	県費	市債	他	一般	11,190
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年健全育成事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	02地域総がかりで青少年の健全な育成を図る	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	03青少年教育費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005青少年健全育成事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	社会情勢や核家族化に伴い、家庭や地域の間関係の希薄化による教育力低下が見受けられる。
-------	--------------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
青少年(園児・児童・生徒)	●青少年育成事業の支援→中学校区単位で学校・家庭・地域社会及び関係機関の連携支援 ●青少年団体の育成支援→団体間の連絡協力を密接に行い、各種事業を実施 ●補助金→少年団指導者協議会の団員(小中学生)及び指導者が県子ども会連合会へ加入する際、120円(40%)を補助金として協議会に支払う。				●青少年育成事業の支援→地域社会における、よりよい環境づくりと支援体制の強化を図る ●青少年団体の育成支援→団体の活動、事業を通じて青少年の健全育成を図る ●補助金→少年団活動の振興のため加入増を図る	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市立幼稚園園児数	人		1,481	1,494		
市立小学校児童数	人		15,629	15,326		
市立中学校生徒数	人		8,206	8,195		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
青少年の健全育成を考えるつどいの参加人数	人		650	534	650	平成27年度
青少年フェスティバルの参加人数	人		3,000	3,000	4,500	平成27年度
活動指標分析結果	参加者の増減はあるものの、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					
事業費	千円		4,053	4,870		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
青少年育成連絡協議会の加入団体数	団体			12	12	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			12	12		
青少年団体連絡協議会の加入団体数	団体			18	20	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			20	18		
兵庫県子ども会連合会加入者数	人			16,400	10,480	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			14,542	13,961		
成果指標分析結果	近年、減少傾向にあるが、この状況に歯止めをかける意味からも必要なものとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
各青少年関係団体(青少年育成連絡協議会、青少年団体連絡協議会、少年団指導者協議会)の振興は、地域での青少年の健全育成に繋がることから、非常に有益であるとする。

※事業費と財源内訳

決算額	4,870	内訳	国費	県費	市債	他	1,000	一般	3,870
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------